

2024年4月1日

高松出入国在留管理局審査部門 御中

フューチャーデザイン日本語学校
校長 宇佐美 誠道

日本語教育機関の告示基準四十五号に基づいて、自己点検（学校評価）を報告いたします。

◎期間：2023年4月1日から2024年3月31日

◎評価基準

5：達成している 4：ほぼ達成している（改善の余地あり） 3：どちらともいえない
2：改善を検討・努力 1：改善が必要

◎各観点別の評価規準

(1)教育の理念・目標

ア	教育理念・目標は適切か	⑤・4・3・2・1
イ	理念・教育目標に合致したコースやカリキュラム設定をしているか	5・④・3・2・1
ウ	教育理念・目的が教職員間で共有され、改善に向け定期的に意見交換ができていますか	5・④・3・2・1
エ	教育理念・目的が生徒・保護者に共有されているか	5・④・3・2・1
オ	PDCAを行い、必要に応じて改善を加えているか	5・④・3・2・1

本校では、教育理念と教育目標を共有することで、学生の目標達成を実現させるべく、教員マニュアルを策定しました。このマニュアルは、教職員が教育理念に沿って、自らの授業に対する姿勢や行動を明確にし、より質の高い授業を実現し、学生とのコミュニケーションを図ることで、安心した日本での生活を送れるように実践的なガイドラインを設定しています。また、授業においては、定期テスト、課末テストで個々のレベルを常に把握しながら、定期面談で学生の目標達成に向けた課題を共有する指導方法を採用しています。学生が抱える問題について迅速に対応できるように取り組んでいます。

(2)学校運営

ア	管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営がなされているか	⑤・4・3・2・1
イ	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	意思決定が組織的になされ、かつ、効率的に機能しているか	5・④・3・2・1
エ	教育目標達成に必要な講師の知識、能力及び資質が生徒、保護者に明示されているか	⑤・4・3・2・1
オ	喫緊の課題対応と中長期の課題に向けた運営がなされているか	5・④・3・2・1

漢字や多読の特別授業を実施するなど、学生の日本語力の弱点を克服できるようにカリ

キュラムを追加するなど、学生の日本語力向上を念頭に置いた学校運営をしています。
語彙や漢字については、さらに強化していきたい技能です。

(3)教育活動

ア	カリキュラム内容及び学生の能力レベルに合った教材を使用して授業を行っているか。また、学生の能力に応じた授業・指導を行っているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生の理解度を把握し、個に応じた指導を行っているか	5・④・3・2・1
ウ	学生の日本語資格取得（EJU, JLPT等）のための受験支援を行い、レベルにあった資格試験の受験を促しているか	5・④・3・2・1
エ	大学・大学院及び専門学校の進学先情報また就職先情報を積極的に収集し、学生の進路相談を十分に行い、適切な進路先が決定できるように支援しているか	5・④・3・2・1
オ	文化理解や、地域との共生のための活動は適切か	5・④・3・2・1
<p>JLPT 模試を傾向と対策として毎月1回実施しています。進路については、入学時から、本校の特徴であるキャリアセンターによるコンサルティングを開始し、学生が実力をいかんなく発揮できるように、願書や履歴書の作成指導や実践的な面接指導等を複数回実施しています。地域とのコミュニケーションについては、日本の生活観衆を知る、実践的な日本語会話力を向上させる目的で、夏祭りやボランティアへの参加を積極的に推進しています。</p>		

(4)学修成果

・評価規準

ア	授業の進度は適切か？説明はわかりやすいか？	5・④・3・2・1
イ	目標が適切・明確で、計画的に行われているか？	5・④・3・2・1
ウ	動機づけのための授業方法に工夫はみられるか？	5・④・3・2・1
エ	定期テストの実施など、知識の定着が計画的か？	⑤・4・3・2・1
オ	質問への対応等、個に応じた指導をしているか？	⑤・4・3・2・1
<p>学生全員が理解できるように！勉強する習慣化！を方針に掲げ、宿題の工夫などによる自習させる学習、演劇発表会など、楽しく学べる授業を実践しています。定期テストの結果に基づいて、目標達成のための課題を、面談にてフィードバックしています。</p>		

(5)生徒支援

ア	学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生の在籍管理は十分機能しているか	⑤・4・3・2・1
ウ	健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか	⑤・4・3・2・1
エ	保護者と必要な情報共有ができているか	5・④・3・2・1
オ	防災や緊急時の危機管理おける体制が整備されているか	⑤・4・3・2・1
<p>在籍管理、健康管理はシステムを利用して把握しています。在留資格に対する支援は、期間更新オリエンテーションの実施や申請書類の記入方法のバックアップなど丁寧に実施しています。防災訓練は学習すべき、非常に重要な生活習慣として、地域主催の防災訓練</p>		

に参加し、地域住民の人とふれあいながら実施しています。

(6)教育環境

ア	教育機関は教育施設として、適切な環境にあるか	⑤・4・3・2・1
イ	各教室は、生徒数に応じた環境で、授業に集中できるか	⑤・4・3・2・1
ウ	教育内容及び受講生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか	⑤・4・3・2・1
エ	視聴覚教材や IT を利用した授業、またオンライン授業が可能な設備や教育用機器等が整備されているか	⑤・4・3・2・1
オ	個別指導や相談に応じたスペースが確保されているか	⑤・4・3・2・1
一人当たりの校舎面積の確保のほか、情報資料室や図書館を設置し、学生の積極的な情報収集姿勢や学習姿勢を支援しています。図書館には、日本の歴史に関する書物を常備し、日本をより知ってもらうように心がけています。		

(7)入学者の募集・財務

ア	学生の受入方針は定められているか	⑤・4・3・2・1
イ	学生募集活動は、適正に行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	適正な定員設定及、在籍者数、教職員数になっているか	⑤・4・3・2・1
エ	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	⑤・4・3・2・1
オ	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5・④・3・2・1
本校では、多様な背景を持つ学生の受け入れという方針のもと、明確な留学目的、高い日本語学習意欲および卒業後の将来設計を重視した選考基準を設けています。留学生向けの学校説明会では、本校の教育理念やカリキュラムに重点を置くことで、学生及び経費支弁者が本校の教育環境を深く理解し、期待に合った学校選びができるよう努めています。入国後のサポート体制についても、教職員が連携し、日本での学習や生活に対する不安を払拭できる体制で取り組んでいます。		

(8)現職教育 (OJT)

ア	教員の指導力向上のための取り組みが行われているか。	5・④・3・2・1
イ	出口指導のための現職教育が行われているか	⑤・4・3・2・1
ウ	オンライン授業への取り組みの教員支援はあるか	⑤・4・3・2・1
エ	教育相談や生活指導について学ぶ機会があるか	⑤・4・3・2・1
オ	教案の共有など教員の協力体制が構築されているか	5・④・3・2・1
キャリアセンターによる教職員の研修、進路調査に基づいての教職員による学生の指導や面談を随時行い、学生の間違いない進路選択に取り組んでいます。また、大学進学希望者には EJU 対策のカリキュラムをかいこうするなど、出口指導の強化を常に図っています。		

(9)法令遵守

ア	入学者の募集に当たり、入学希望者に対し、告示基準に定める事項に関する情報の提供を適切な方法により正確かつ確実にしているか	⑤・4・3・2・1
イ	個々の生徒の単位時間ごとの出欠を正確に把握するための適切な措置を講じているか	⑤・4・3・2・1

ウ	生徒の在留期間並びに資格外活動の許可の有無及び内容を把握し、出入国管理法令に違反しないよう適切な助言及び指導を行っているか	⑤・4・3・2・1
エ	告示基準に基づく地方出入国在留管理局への報告を適切に行っているか	⑤・4・3・2・1
オ	告示基準に基づき、記録、届出のあった内容又は資料を適切に保存しているか	⑤・4・3・2・1

本校では学生本来の目的の数値目標として、出席率を学生評価基準の一つに設けています。欠席者に対しては、寮へ出向いて理由を明確に把握し、学生のモチベーションを維持するように努めています。学生に対しても、留学ビザの交付目的を随時説明し、出入国管理法令に違反しないよう助言及び指導を行っています。特に資格外活動の法令遵守は学校提携の会社でのアルバイトを推進し、提携会社と連携して取り組んでいます。

(10)地域貢献・社会貢献

ア	生徒に坂出(香川)で生活する意義を考えさせる機会はあるか	5・④・3・2・1
イ	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5・4・③・2・1
ウ	地域の催しに積極的に参加しているか	⑤・4・3・2・1
エ	公開講座など学校への地域開放を行っているか	5・④・3・2・1
オ	活動に、将来の日本や母国への貢献につながるものはあるか	⑤・4・3・2・1

日本での生活をより知ってもらう講座を授業に取り入れ、日本での生活風習を理解させることに全力で取り組んでいます。社会人としての自立が最終目標です。また、地元の高校と連携して、互いの国の理解促進や交流を積極的に実施したり、日本の伝統文化である餅つきを地域の人と一緒に実施するなど、日本人社会でも貢献できる外国人を輩出できるようにイベントを工夫しています。

以上